

ユニバーサルデザインの授業づくり を基本とした3年間の取組



宇陀市立榛原小学校

1 ユニバーサルデザイン（UD）の授業づくり（平成25～27年度）

2 UDの授業づくりを基本とした学力向上の取組

全ての子どもが主体的に学び合う授業の創造（算数科を中心に）

①平成28年度 算数科を通してのアクティブラーニングの授業づくり

②平成29年度 基礎基本の力の充実と、主体的・対話的な学びの授業づくり

③平成30年度 基礎基本の力の充実と、主体的・対話的な学びの授業づくり

3 成果と課題

1 ユニバーサルデザイン（UD）の授業づくり（平成25～27年度）

取組の目的…通常学級にいる支援の必要な子どもへの対応

内容と成果

授業づくり → 榛小スタンダード

- ①学習の流れの予告、構造化
- ②ルールの明確化
- ③教師の話し方 3S（ショート、シンプル、ストレート）
- ④視覚支援



- ◇学習環境チェック
- ◇授業のUDシート…児童の特性に応じた対応

2 UDの授業づくりを基本とした学力向上の取組

全ての子どもが主体的に学び合う授業の創造（算数科を中心に）

平成28年度

〈研究主題〉 全ての子どもが主体的に学び合う授業の創造

～算数科を通してのアクティブラーニングの授業づくり～

→算数嫌いをなくしたい

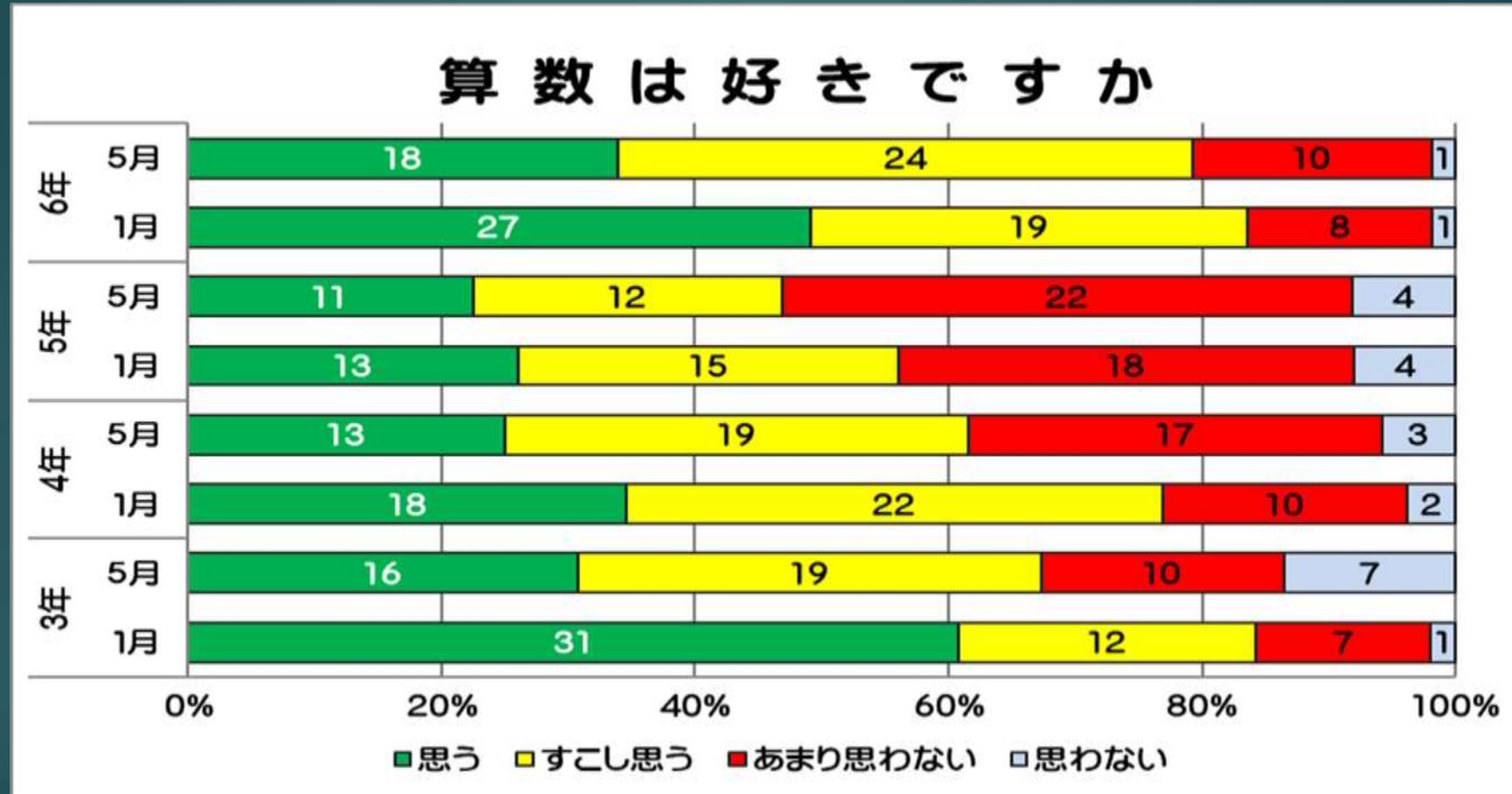
- アクティブラーニングへの理解を深める
- 児童理解のための研修 → 気になる子への手立て
- ユニバーサルデザインを活用した学習環境整備



ペア学習・グループ学習
→ 教え合いで
自信をもって発表



○成果 …… 算数好きは増えた！



◇課題として見えてきたこと

- まずは基礎基本の力を身に付けさせ、
それを活用する力を育てること
(基本的な力が付いてないために話し合いが深まらない)

平成29年度

〈研究主題〉 全ての子どもが主体的に学び合う授業の創造

～基礎基本の力の充実と、

主体的・対話的な学びの授業づくり～

授業部会（学年部会）に加え、専門部会（調査、評価、家庭学習）を新設

授業部会

低学年…なぜ、どうしても主体的に考えられる授業づくり



自力解決からペアでの話し合いへ

授業部会

中学年…伝えることの楽しさを目指した算数の授業づくり



ペアでの確かめ合い → 自信をもって発表

授業部会

高学年…学び合うことで、問題を解決する力を高める授業づくり



専門部会

調査部会

質問紙調査により児童の意識調査

評価部会

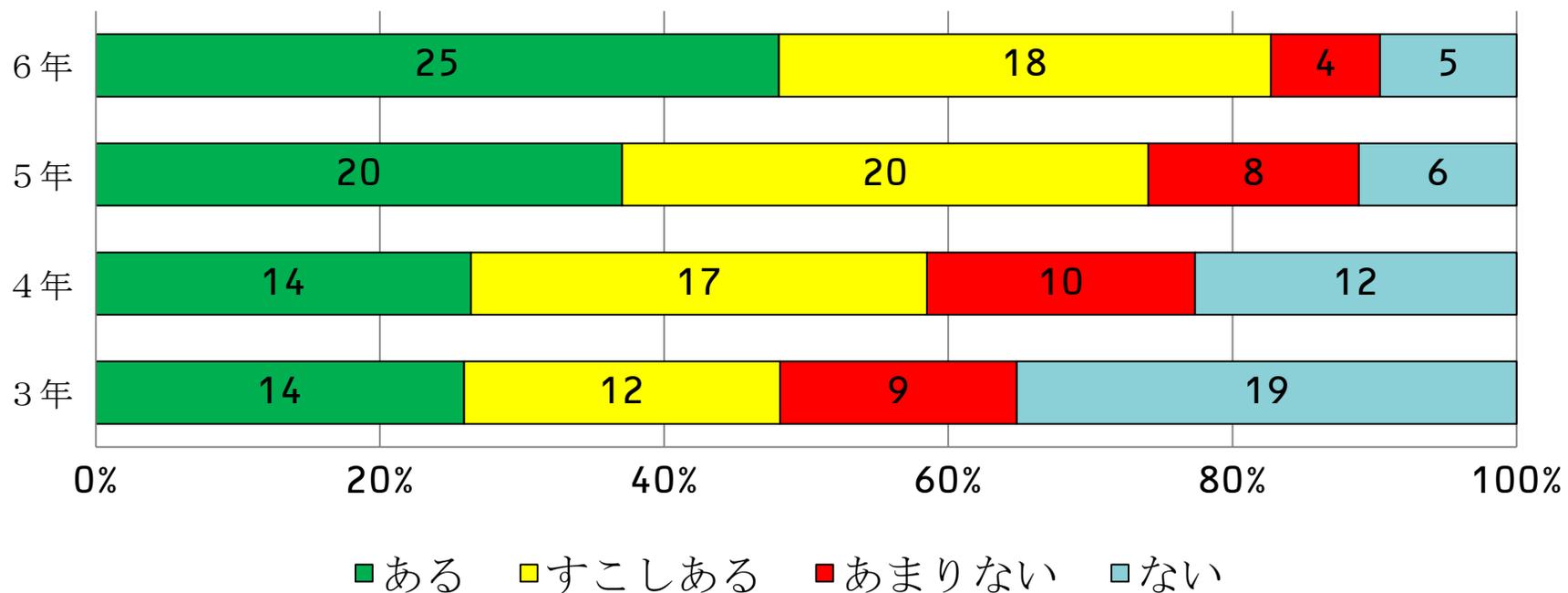
授業の振り返りの工夫

家庭学習部会

家庭学習のあり方（課題学習と自主学習）

調査部会

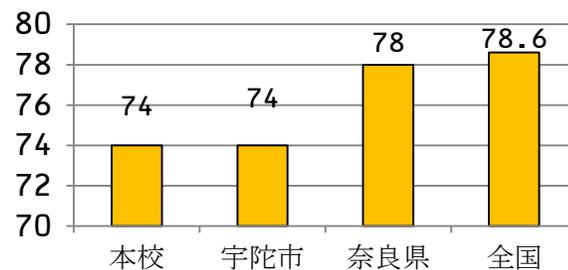
算数で「きれい・にがて」な学習内容がありますか
(H29.7算数アンケートより)



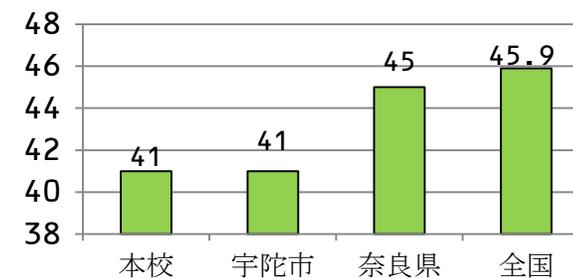
学年が上がるにつれて、苦手な内容が増える

調査部会

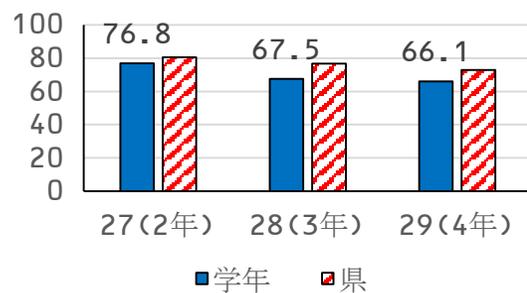
29全国学力 算数A



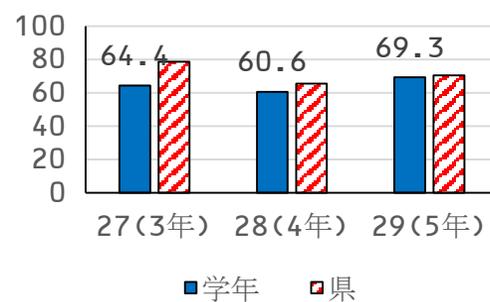
29全国学力 算数B



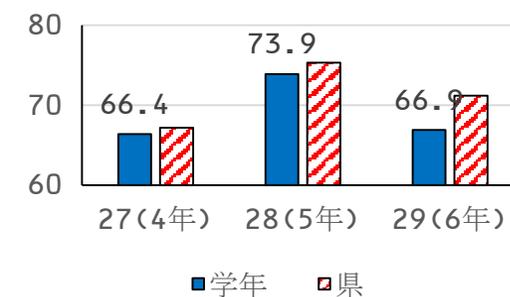
4年 算数



5年 算数



6年 算数



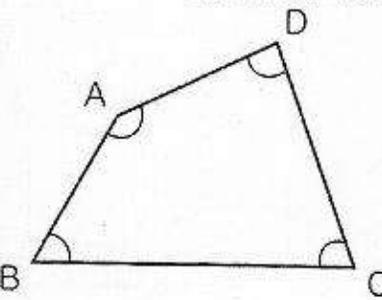
テスト結果からは、学力向上の状況は見られない

評価部会

授業の振り返りの工夫

月 日

四角形の4つの角の大きさの和を
角度をはからずに求めよう！
自分の考えを 文や式で説明しましょう。



まとめ

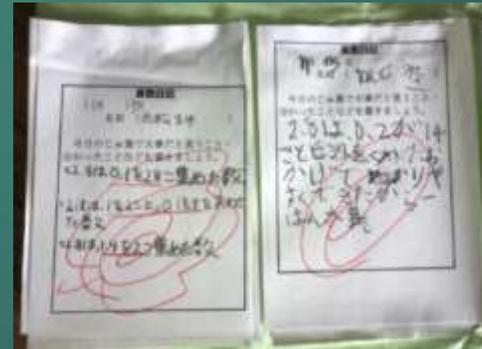
四角形の4つの角の大きさの和は、()である。

四角形の4つの角の大きさの和は、

振り返り 

5年 組 番 名前

「めあて」が達成できたか
適切であったか



(満足度は?)



家庭学習部会

家庭学習のあり方

課題学習（宿題）

基礎基本の定着のための反復学習

習慣化（毎日）

自主学习

自分の興味・関心に応じた内容

意欲の向上（土日）

家庭学習部会 家庭学習の手引き

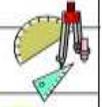


目指せ！学習王

ルール

- 宿題と音読をしてから、とり組む。
- 毎日やるのが1つ。しかし、休みの日だけでもOK。
- 月日を書き、正しい文字を書こう。

「学習王」になるために

国語	① 漢字れんご ☆漢字ドリルを見て、正しい書き方で、正しいに書く。 速りがなも正しく書く。 ☆分からない言葉の意味を国語じてんを使って調べ、書く。 ☆漢字を使って、ひょうご語や文を作り、書く。 ☆ことわざや慣用語（かみようく）を調べ、書く。 など	
	② 書き写し ☆教科書の文章を、だんごに気をつけて書き写す。 ③ ローマ字をおぼえる。（国語の教科書にのっている。）	
算数	① 計算問題・文章問題 ☆計算ドリルや教科書の問題をやる。	
	② 図形をかく。 ☆じょうぎやコンパスを正しく使って、長方形・正方形などの図形やまようをかく。	
社会	① 地図記号をおぼえる。	
	② 「わたしたちの守衛市」や教科書を書き写す。	
理科	① 教科書を書き写す。	



スタディーマスター 説明書

- 必ずどの日の宿題を終えてから取り組みましょう。
- 下のよう内容に取り組みましょう。
国語—音読、漢字、教科書の複写（句読点忘れ）、ローマ字、
慣用語やことわざ調べ、意味調べ、読書感想文、
算数—四則（+ - × ÷）計算、文章問題
図解作り（作って解いてみる）作図（コンパスや定規を使う）
社会—歴史人物の調べ学習、新聞の切り抜きをして感想を書く
理科—動物や植物などを観察した内容と感想を記録する。
外国語—英語を書いている。
（他にも、日記を書いたり、新聞を切り抜いて感想を書いたりしてかまいません。自分で考えたりのうちの人と相談して取り組みましょう。）
※答えがあるものは必ず答え合わせしてから提出しましょう。
イラストを描く練習は自由帳に書いて楽しみましょう。
「1つのページに1問しか書かない」「マスがたくさん
空いているのに次のページに書く」など
もったいない使い方はやめよう。
- 続けられるめあてを決めて取り組みましょう。
「1日に習っている漢字を2回ずつ書く。」
「3日に1回ずつ提出する。」
「土日は必ずスタディーマスターをする。」 など…

◇課題として見えてきたこと

- 話し合い学習の中で伝える力やその方法をも高める必要
- テストで結果が出ない。文章問題の無回答率を下げたい
→その基礎となる読む力（読解力）を付けさせたい
- 家庭学習の充実
→学習習慣を身に付け基礎基本の力を付ける
興味関心にそって学ぶことで学習意欲を高める

3年目（平成30年度）

学習規律 → 榛原小学校授業の約束の徹底
基礎基本の力の充実

授業のUD化（榛小スタンダードの確認）

→ 市として「UDAスタンダード」を作成

家庭学習の工夫…家庭学習のあり方 「意欲と習慣化」

読書の推進…多読のすすめ →学級目標、個人目標の設定

授業の改善…榛小デザインプラン(実態→育てたい姿)

指導と評価の一体化 学び合う授業

どの授業でも実践しましょう

どの子にも実践させましょう

UDAスタンダード

授業編 授業の中で次の4点を効果的に取り入れましょう。

活動	内容
① 学習目標を提示する	学習目標（めあて、ねらい）を明確に示します。
② 自分で考える活動	どの子も課題に向き合い、じっくり考える時間を確保します。
③ 交流する活動	自分の考えをペア・グループ・全体で、発表したり話し合ったりする時間を確保します。
④ 振り返る活動	わかったこと、さらなる疑問、もっと学習したいことなどを自分の言葉でまとめたり、学んだことを使って練習問題等を行います。

家庭学習編

自分で学習や生活を改善する力を継続的に育てることが重要です。家庭学習は、宿題や自主学習などを含め、以下の時間を目標に行える習慣を家庭と連携して育みましょう。

学年	小学校						中学校				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年		
目標時間(分)	20分程度		30～40分			50分～60分			90分～120分		

宇陀市教育委員会

実践のヒント

① 学習目標を提示する

めあては単元名や教材名ではなく、子どもが「この1時間で何をやるか」がはっきりとわかる表現で示しましょう。

子どもが学習課題をとらえやすくするために、ICT・具体物などを活用しましょう。

子どもに問題意識をもたせた後で、めあてを提示する方法もあります。

② 自分で考える活動

自分の考えを言葉、絵、図、操作などでまとめさせましょう。

一定の時間課題に向き合わせた後、困っている子どもには、何に困っているのかを聞いたり、ヒントや具体物などで個に応じた支援をしたりしましょう。必ずしも全員に解決させる必要は無く、次の交流活動での友達の説明などによって理解できる余地を残してもよいでしょう。

机間指導をしながら、個々の考えを把握するとともに、その後の展開を構想しましょう。

③ 交流する活動

多様な考えの交流、対立する考えの交流、互いの学びの確認のための交流など、ねらいに応じて使い分けます。

必要に応じて、ICTやホワイトボードなどを活用し、考えの見える化をしましょう。

子どもに、どのようなことを交流してほしいのか、具体的な姿を事前にイメージしましょう。

④ 振り返る活動

何を学習したか、どのように学習したかなどについて振り返らせるとよいでしょう。

学習した知識・技能をより確かなものにするために、練習問題を行うなどの他に、作文、演奏、運動による表現なども考えられます。

自分や友だちの学びを振り返り、次の授業や家庭学習などに生かそうとする子どもの姿を積極的に褒めていきましょう。

家庭学習

家庭学習では、宿題、自主学習や読書などを含め目標時間になるよう指導しましょう。開始時刻を決めるなど、自主的に行う習慣が身に付くよう家庭と連携し指導しましょう。自主学習のよい例はどんどん紹介しましょう。「継続は力なり」です。一人一人を認めながら根気強く指導しましょう。

授業のユニバーサルデザイン化

UD

1時間の学習の流れを明示することにより、見通しをもち、落ち着いて学習できる子どももいます。

活動時間を明示すると共に、タイマーなどを活用し時間の経過も見え化しましょう。

①3S（ショート、シンプル、ストレート）の意識。指示は一つずつ。説明は短くシンプルに。わかりやすい表現で。
②具体物やICTを積極的に取り入れ、イメージしやすい環境を作りましょう。
③スモールステップ化。小さな階段をいくつも作り、「できる・できるのくり返し」で習得させましょう。

宇陀市教育委員会では、平成28年度、29年度と「学びの創造UDAプラン」の中で、「授業のユニバーサルデザイン化、主体的・対話的な学び、家庭学習の充実」という目標にむけて取り組んで来ました。それらUDAプランの成果が、宇陀市のどの教室でも行われる「スタンダード」となるよう内容を絞り込み整理しました。毎日の授業で実践し、指導力の向上を図ることも子どもに力をつけましょう。



まな ぶの 基本

宇陀市立橋原小学校
2019年度版
家庭学習のてびき

家庭学習は、①習慣化、②定着、③自律 をめざすものです。

めあて	低学年では まず宿題	中学年では 言われなくても	高学年では 進んでチャレンジ
てびき	いえにかえったら、すぐこころう！ 	はやくやると、きもちがいいよね！ 自主学習（復習・分からなかったところ） 宿題・明日のじゅんぴ・読書	自主学習 （字書・興味をもったこと）
ルール	<ul style="list-style-type: none"> ★ 静かな所で ★ いつするか時間を決めて ★ つくえの上は片付けて ★  <p>（4つのルールは、おうちの人といっしょに覚えよう）</p>		

自主学習★ワクワクらない

あなたにおすすめの自主学習はこれ！

自主学習で何をしようか迷ったとき、次の質問に答えていくと、あなたに合った勉強の仕方がわかるよ！

スタート

思ったらすく 宿題をやる

宿題は解きだす

宿題が解きだす

宿題が解きだす

自分に合った覚え方を おうちの人といっしょに 探そう！
担任の先生に相談しよう！

宿題は すぐ終わる

宿題は解きだす

宿題が解きだす

宿題が解きだす

自分に合った覚え方を おうちの人といっしょに 探そう！
担任の先生に相談しよう！

楽しい勉強 の方が楽しい

宿題で解きだす 宿題ができる

科学や歴史の本を 読んで、写してみよう！

計算や漢字の練習を 少しずつ読んで、細かく スケジュールを定めて やってみよう！

必解い字を調べて、 わかったことをまとめて みよう！
①計算や漢字のスピード を上げよう！

ちょっと難しい問題に 取り組んでみよう！

教科書の問題をもう1度 やってみよう！
わからないところは質問 しよう！

計算や漢字の練習を 少しずつ読んで、細かく スケジュールを定めて やってみよう！

親達の皆さんへ

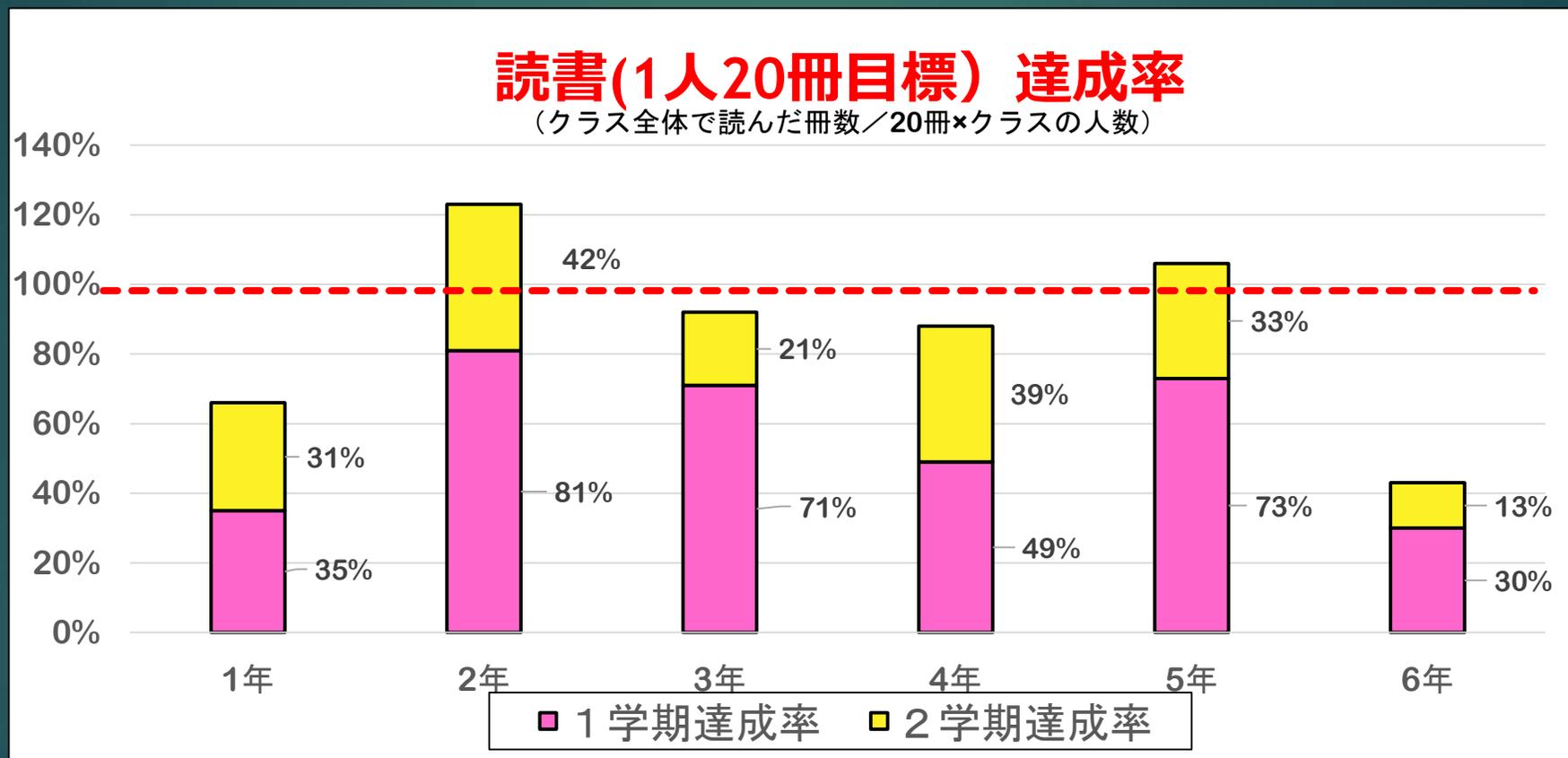
自分で考え、自分で学んでいくことは、ただテストの点を上げるだけでなく、生きる方になっていきます。「すてきな自分」になるために、いろいろなことに挑戦してみよう！
今の自分に最適な学習方法がわかると、勉強が楽しくなれます。新しいことは続けることができます。新しいと人に伝えたいくなります。担任の先生に「楽しさ」を伝えましょう。

保護者の方へ

これはあくまでも「目安」です。自主学習に「一番大切なのは、「自主性」です。まずは、子どもたちが「やりたい！」と思うものをさせてみてください。うまくいかなかったり、荷が重たいか決めるのに時間がかかったりする時の参考にしていただければ幸いです。



読書の推進 (多読のすすめ)



取組の成果

- ペアやグループで話し合う活動の定着 ←教師の学び合い
 - ペアで話し合うことで自信をもって発表できる
- 家庭学習についての認識の共有
 - 反復練習のための宿題と意欲向上のための自主学習
 - 自主学習の手引き
- 榛小デザインプラン→事後の考察にも活用

取組の課題

△UDの授業づくりの継承（教員の入れ替わり）

△取組の成果が学力テストの結果として現れてこない

児童は結果（点数）が良ければ好きになる

学び合いの後、反復練習で定着させる時間の保障

（家庭学習へどうつなぐか）

問題を読む力・書く力を高める